

無溶剤型

パイルロックNS-v

鋼矢板用膨潤性止水材



浸漬前 浸漬後
パイルロックNS-vの膨潤状態

パイルロックNS-vは、従来広くご使用頂いておりますパイルロックNSの流動性や強度を改良した製品です。従来同様、環境に優しい無溶剤型で塗布作業の安全性を高めると共に、流動特性を改良することによって低温時の作業効率を大幅に改善しました。

鋼矢板を止水壁として使用する場合、本製品を予め鋼矢板継手部に塗布しておくことにより、硬化塗膜が吸水膨潤して継手部の隙間を埋め、止水性を著しく向上させることができます。

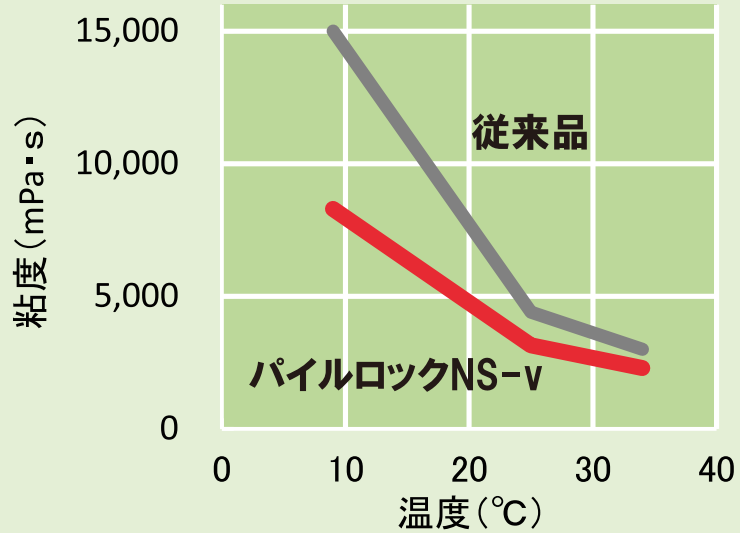
概要

- 1) **パイルロックNS-v**は、ウレタン系の膨潤性樹脂をベースとした流動性を有する鋼矢板用止水材で、組成中に揮発性の有機溶剤を含んでいません。
- 2) 本製品を継手部に流し込むと、空気中の水分により反応硬化し、水膨潤性のゴム状塗膜を形成します。この塗膜は、水に浸漬後24時間で最高6倍に吸水膨潤することで継手部の隙間を埋め、0.5MPa(水深50m相当)以上の耐水圧を発揮します。

特長

- 1) 特殊ウレタン樹脂系の1液型止水材です。硬化促進剤を併用することで、常温では16時間程度、低温域でも24時間程度で硬化を完了させることができます。
- 2) 組成中に揮発性の有機溶剤を含有しておりませんので、塗布作業時の安全性を高め、かつ周辺環境にも影響を与えません。
- 3) 施工前の鋼矢板継手部に流し込み、硬化させるだけで、通常の鋼矢板と同様に施工でき、鋼矢板の止水性を著しく高めます。
- 4) 塗膜は、周辺の水質に悪影響を与えません。塗膜からの溶出物は、土壌汚染対策法地下水基準に適合しています。
- 5) 引抜後は、ウォータージェット等で清掃できます。
- 6) 低温時の流動性や硬化性が良好なことから、特に冬季における塗布作業効率を大幅に改善します。

粘度の温度依存性



硬化時間の目安

気温(°C)	硬化促進剤		
	無添加	K-1	F-2
30	>24		
20	>48	>16	
10		>28	>16
5		>60	>20
-10			>24

単位:時間

溶出水の分析結果

項目	抽出液	基準	測定値	検出方法
1. 亜鉛	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
2. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
3. 有機物	mg/L	0.010	0.001	有機物濃度測定法
4. 銅	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
5. 硝酸イオン	mg/L	0.010	0.001	還元法
6. 硫酸	mg/L	0.010	0.001	還元法
7. 鉄	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
8. 亜硫酸イオン	mg/L	0.010	0.001	酸化還元法
9. 塩素	mg/L	0.010	0.001	滴定法
10. 亜硝酸イオン	mg/L	0.010	0.001	還元法
11. 硫酸根イオン	mg/L	0.010	0.001	還元法
12. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
13. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
14. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
15. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
16. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
17. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
18. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
19. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
20. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
21. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
22. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
23. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
24. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
25. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
26. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
27. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
28. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
29. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法
30. シンク	mg/L	0.010	0.001	原子吸光法

施工状況

使用方法

- 1) 鋼矢板を、作業しやすいように並べ替えます。
- 2) 継手部の浮き錆び、泥、油、水分などの汚れを取り除きます。
- 3) 塗布範囲にあたる継手部の両端を、粘土やガムテープ等で塞ぎます。
- 4) パイルロックNS-vをオイルジョッキなどに小分けし、継手部に流し込みます。流し込み後、打設までに降雨のおそれがある場合には、シート等で保護して下さい。
- 5) 硬化を確認した後、打設作業を行います。
- 6) 打設の翌日には止水性を発揮し、排水や掘削等の作業を行う事が出来ます。



使用上の注意

- 1) 開缶した製品は、その日の内に使い切して下さい。
- 2) 冬場には、硬化に時間がかかる場合があります。
- 3) 降雨時や鋼矢板を扱えないような天候の時は、塗布作業を中止してください。
- 4) 取扱中は火気厳禁とし、良く換気をしてください。

※パイルロックNS-vは、消防法第4類第3石油類に該当します。
詳細情報については、安全データシート(SDS)をご請求ください。

止水性能

実際の矢板を試験片とした耐水圧試験により、良好な止水性を確認しています。

- 1) 使用矢板: IV型
- 2) 塗布量: 0.2 kg/m[両爪]
- 3) 浸漬条件: 3%塩水中×48時間
- 4) 耐圧試験結果: 0.5MPaで漏れ無し

荷 姿

パイルロックNS-v : 16kg 石油缶
硬化促進剤
K-1 [春～夏～秋用 : 10℃以上] : 0.5kg
F-2 [冬、寒冷地用 : 5～10℃] : 0.5kg

塗 布 量

鋼矢板の型式	塗布量 / 両爪合計・1m
II、II w	0.18kg
III、III w、IV、IV w、VL	0.20kg
VI	0.22kg
軽量鋼矢板 LSP-3A	0.12kg
ハット型鋼矢板 10H、25H	0.12kg

耐 水 圧 試 験



NCP 日本化学塗料株式会社

〒252-1111 神奈川県綾瀬市上土棚北4-10-43
Tel : 0467-79-5711
Fax : 0467-79-5477
URL : <http://www.ncpaint.co.jp>
Email : info@ncpaint.co.jp

お問い合わせ先